

目次	頁
口絵	
序	
凡例	
第一章 総論	1
はじめに	
時代の変遷とともに	
種類で分けると	
おわりに	
第二章 各論	35
第一節 地域と仏像	
一 尾張国府周辺の仏像	36
二 愛知県の仏像と奈良	43
三 仏像移動史―特に県外から県内へ―	51
四 紀州から伝えられた兜跋毘沙門天像	55
五 愛知県の鑄造仏	58
第二節 彫像の様々な姿	
一 誕生釈迦仏	80
二 飛天と雲	86
三 金剛力士立像	96
四 俗人の肖像彫刻	109
五 像内銘と像内納入品	121
第三節 宗派と造像	
一 禅宗と仏像・肖像	134
二 真宗の彫像	144
第四節 円空・木喰と仮面	
一 愛知県の円空仏	152
二 愛知県の木喰仏	166
三 愛知県の仮面類	174
四 徳川美術館の能・狂言面	184
第三章 作品解説	
第一節 名古屋・尾張	191
第二節 知多	363
第三節 西三河	401
第四節 東三河	541
第五節 円空仏	611
第六節 仮面と獅子頭	661

【コラム】

錐点とその用法（296ページ）

円空の仏像修理（303ページ）	
荒彫像と鉦彫像（370ページ）	
秘仏拝観記（474ページ）	
木彫像にみる絵画的要素（482ページ）	
割首の効用（574ページ）	
像に直接記された銘文（604ページ）	
所蔵者索引	711
愛知県内指定文化財一覧（彫刻）	720
用語解説	736
仏像各部の名称	740
あとがき	742
執筆者名簿	744
資料提供者及び協力者	745
愛知県史編さん関係者名簿	750